

尾張・知多

尾張支社

一宮市栄2-14-29
アステアー宮北館102号

TEL0586(72)5003
FAX0586(72)6823

尾東支局

春日井市上条町1-215
原ビル4階

TEL0568(41)9950
FAX0568(41)9951

半田支局

半田市泉町1-4
泉ビル4階

TEL0569(24)6320
FAX0569(24)6367

南知多道路 美浜 I.C. すぐ!!
約40種類のえびせんべい販売



えびの里 美浜本店
TEL: 0569(82)0248
営業時間: 8:00~17:00
※1月・9月に定休日あり
えびせんべいの里

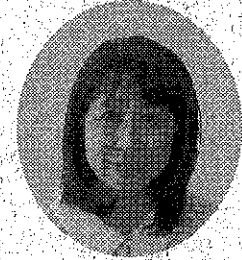
放課後デイサービスに参入

道路安全設備工事のオカムラ

ガードレールや道路標識など道路安全設備の施工を手掛けるオカムラ(岡村紀代社長)は昨年9月、児童発達支援・放課後等デイサービス事業に参入した。愛知県蟹江町に教室を開設し、発達障害を持つ幼児を対象に、脳科学に基づく運動療育プログラムを提供している。

(尾張・吉川英司)

改革に挑む 中部企業



岡村紀代社長

児童発達支援・放課後等デイサービスの開業・運営サポートなどを手掛けるS.I.C.(エスアイシー、本社名古屋市)とフランチャイズ契約して始めた。教室の名称はS.I.C.



脳科学に基づく運動療育プログラムを提供する

蟹江町に教室、運動療育を提供

KIDS蟹江校(愛知県蟹江町本町)。

同教室では、多動性障害のほか、他人とのコミュニケーションが苦手、自己肯定感が低いなど、外見では判断できないさまざまな発達障害の原因を、視覚機能や生まれながらの反射行動などのチェックで特定。その結果に基づき、45分間の運動療育プログラムを2日に1回程度、マン・ツーマンで指導している。

指導担当者は「プログラムは脳科学に基づくオリジナル。運動を通じて、改善を目指す。幼児期からの早い段階で始めると効果が高い」と説明する。

料金は国の制度に基づき、3歳以上の未就学児は無料。小学生以上は世帯収入によって月額4600(3万7200円) (非課税世帯は無料)。

岡村社長は「孫にかつて口唇口蓋裂(こうしんこういれつ)があったため、以前から障害児福祉に取り組みたいと考えていた」とし、児童発達支援・放課後等デイサービス事業について「収益よりも社会貢献。子どもにかかりきりになる母親たちの負担を減らしたい」と狙いを話す。

【会社概要】本社弥富市佐古木6の2
16の2、電話0567・655・6050。
1993年創業。社員数はグループ会社含め18人。

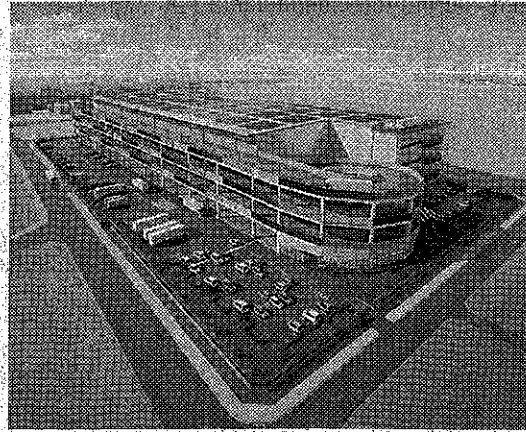
【尾東】小牧市は11月以降、桃花台ニュータウンで、自動運転バスの実証実験を行うと発表した。自動運転実証実験は、2月に名鉄小牧駅東側ロータリーから小牧山麓ガイダンスエリア間の片道約1・8キロで行って以来2度目。

桃花台ニュータウン内の約10キロを、実際に乗客を乗せて、制限速度に近い速度で走行する。国が定める自動運転の五つの段階のうち、システムがアクセルやブレーキ、ハンドル操作を部分的に行う「レベル2」で実施する。期間は約3週間。

市の巡回バス「こまごま」で課題となっている運転手不足への対応や、高齢化が進む公共交通の重要性が高い桃花台ニュータウンで自動運転に対する受容性の確認や情報収集などを行い、導入に向けた検証を進める考え。

公募型ロボポータルで運行事業者の募集を行うっており、9月中旬にも決定する。

一宮市に大型物流施設 オリックス不動産



「宮萩原ロジスティクスセンター(仮称)」の完成イメージ

【尾張】オリックス不動産(本社東京都)は、一宮市萩原町にマルチテナント型物流施設「宮萩原ロジスティクスセンター(仮称)」を着手したと発表した。4階建て延べ床面積約7万6500平方メートルの規模。2026年4月の完成予定。

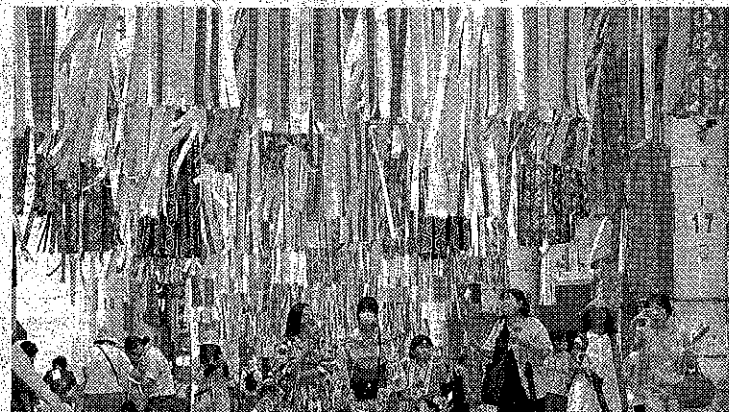
所在地は一宮市萩原町林野野宮1の1ほか、東海北陸自動車道・一宮稲沢北インターチェンジから200

メートルに立地する。市街化調整区域で、愛知県の尾張都市計画による地区計画制度を活用して建設する。投資額は非公表。

施設は、各階に直結するスロープを設け、各階には10台車を最大42台(4フロア合計で168台)同時乗り入れできる。テナント区画は約4300平方メートルから利用可能で、最大12テナントが入居できる。

施設内にテナント従業員用のカフェテリアを2カ所設置し、雇用確保に配慮する。また、屋上に太陽光発電設備を設置するなど、入居テナントは100%再生可能エネルギー由来の電力を使用できる。1階平面駐車場には電気自動車用充電スタンドも設置する。

28日までパレードなど多彩なイベント



一宮七夕まつりが開幕

一宮市最大の夏季イベント「第69回おもしろ感謝祭 一宮七夕まつり」(同まつり実行委員会主催)が25日、真名寺清田神社や一宮市本町商店街、銀座通り、尾張一宮駅前ビル(一ビル)など中衣(こころ)市街地一帯を会場に開幕した。

各会場には、色鮮やかな吹流し飾りや伝統的な竹下飾り、竹飾りなど七夕まつりが設置されている。開幕初日から多くの人が会場を訪れた。

同日、オープニングセレモニーが本町商店街の七夕飾りを楽しむ姿が見られた。

会場は、七夕まつり期間中、

尾張・知多

尾張支社

一宮市栄2-14-29
アスティー宮 北館102号

TEL0586(72)5003
FAX0586(72)6823

尾東支局

春日井市上条町1-215
原ビル4階

TEL0568(41)9950
FAX0568(41)9951

半田支局

半田市泉町1-4
泉ビル4階

TEL0569(24)6320
FAX0569(24)6367

南知多道路 美浜I.C. すぐ11
約40種類のえびせんべい販売



美浜本店
TEL: 0569(82)0248
営業時間: 8:00~17:00
※1月・9月に定休日あり
※えびせんべいの里

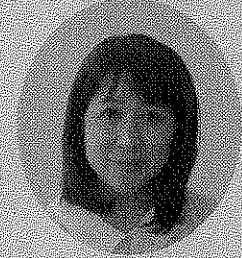
【尾東】小牧市は11月以降、桃花台ニュータウンで、自動運転バスの実証実験を行うと発表した。自動運転実証実験は、2月に名鉄小牧駅東側ロータリーから小牧山麓ガイダンスエリア間の片道約1.8キロで行って以来2度目。

放課後デイサービスに参入

道路安全設備工事のオカムラ

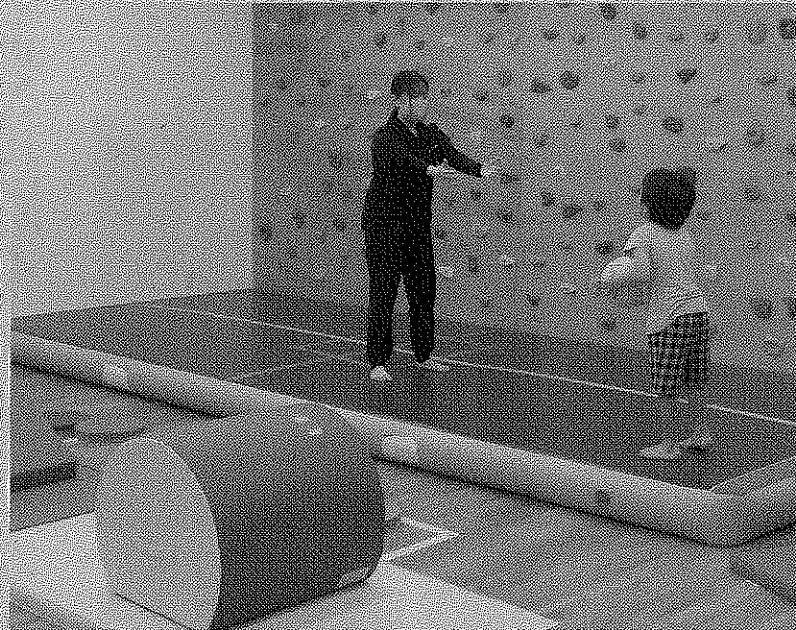
ガイドレールや道路標識など道路安全設備の施工を手掛けるオカムラ(岡村紀代社長)は昨年9月、児童発達支援・放課後等デイサービス事業に参入した。愛知県蟹江町に教室を開業し、発達障害を持つ幼児を対象に、脳科学に基づく運動療育プログラムを提供している。(尾張・吉川英司)

改革に挑む 中部企業



岡村紀代社長

児童発達支援・放課後等デイサービスの開業・運営サポートなどを手掛けるS.I.C.(エスアイシー、本社名古屋市中区)とフランチャイズ契約して始めた。教室の名称はS.I.C.



脳科学に基づく運動療育プログラムを提供する

蟹江町に教室、運動療育を提供

KIDS蟹江校(愛知県蟹江町本町)。
同教室では、多動性障害のほか、他人とのコミュニケーションが苦手、自己肯定感が低いなど、外見では判断できないさまざまな発達障害の原因を、視覚機能や生まれながらの反射行動などのチェックで特定。その結果に基づき、45分間の運動療育プログラムを2日に1回程度、マン・ツーマンで指導している。
指導担当者は「プログラムは脳科学に基づくオリジナル。運動を通じて、改善を目指す。幼児期からの早い段階で始めると効果が高い」と説明する。
料金は国の制度に基づき、3歳以上の未就学児は無料。小学生以上は世帯収入によって月額4600~3万7200円(非課税世帯は無料)。
岡村社長は「孫にかつて口唇口蓋裂(こうしんこうがいれつ)があったため、以前から障害児福祉に取り組みたいと考えていた」とし、児童発達支援・放課後等デイサービス事業について「収益よりも社会貢献。子どもにかけ過ぎる負担を減らしたい」と狙いを話す。

【会社概要】本社弥富市佐古木6の2
1602、電話0567・655・6050。
1993年創業。社員数はグループ会社を含め18人。

【尾東】小牧市は11月以降、桃花台ニュータウンで、自動運転バスの実証実験を行うと発表した。自動運転実証実験は、2月に名鉄小牧駅東側ロータリーから小牧山麓ガイダンスエリア間の片道約1.8キロで行って以来2度目。
桃花台ニュータウン内の約10キロを、実際に乗客を乗せて、制限速度に近い速度で走行する。国が定める自動運転の五つの段階のうち、システムがアクセルやブレーキ、ハンドル操作を部分的に行う「レベル2」で実施する。期間は約3週間。
市の巡回バス「まっしゅ」で課題となっている運転手不足への対応や、高齢化が進み公共交通の重要性が高い桃花台ニュータウンで自動運転に対する受容性の確認や情報収集などを行い、導入に向けた検証を進める考え。
公募型プロポーザルで運行事業者の募集を行うっており、6月中旬にも決定する。

一宮市に大型物流施設 オリックス不動産



「宮萩原ロジスティクスセンター(仮称)」の完成イメージ

【尾張】オリックス不動産(本社東京都)は、一宮市萩原町にマルチテナント型物流施設「宮萩原ロジスティクスセンター(仮称)」を着工したと発表した。4階建て延べ床面積約7万6500平方メートルの規模。2026年4月の完成予定。

所在地は一宮市萩原町林野野宮1の1ほか。東海北陸自動車道・一宮福沢インターチェンジから約200メートルに立地する。市街化調整区域で、愛知県の尾張都市計画による地区計画制度を活用して建設する。投資額は非公表。
施設は、各階に直結するスロープを設け、各階には10台車を最大42台(4フロア合計で168台)同時乗り入れできる。テナント区画は約4300平方メートルから利用可能で、最大12テナントが入居できる。
施設内にテナント従業員用のカフェテリアを2カ所設置し、雇用確保に配慮する。また、屋上に太陽光発電設備を設置するなど、入居テナントは100%再生可能エネルギー由来の電力を使用できる。1階平面駐車場には電気自動車用充電スタンドも設置する。

28日までパレードなど多彩なイベント

一宮七夕まつりが開幕



一宮市最大の夏季イベント「第69回おりの感謝祭 一宮七夕まつり」(同まつり協進会主催)が25日、真名寺清田神社や一宮市本町商店街、銀座通り、尾張一宮駅前ビル(イービル)など中心市街地一帯を会場に開幕した。
各会場には、色鮮やかな吹き流し飾りや伝統的な竹下飾り、竹飾りなど千鳥の七夕飾りが設置されている。開幕初日から多くの人が会場を訪れた。
同日、オープニングセレモニーが本町商店街の七夕飾りを楽しむ客が見られた。